

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.115 2019/2/19

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研：どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

今月号のトピックス

■建築性能試験センターより

- 研究紹介「道内の既存木造住宅における耐震性能の推計に関する研究」
- 建築性能試験センター『建築技術交流フォーラム』を立ち上げました

■北方建築総合研究所より

- 研究紹介「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発」

■お知らせ

- 道総研オープンフォーラムを開催します
- 道総研研究職員採用セミナーを開催します
- 平成30年度きた住まいる技術講習会を全道で開催中です

■建築性能試験センターより

- 研究紹介「道内の既存木造住宅における耐震性能の推計に関する研究」
(平成30年度 道受託研究)
安全性能部 構造判定課 千葉

これまでの研究から、北海道の木造住宅は床面積に対する屋根面積の割合が小さく直交壁が多いことなどの傾向があり耐震性能にとって有利に働くことが判ってきました。しかし、耐震診断ではその効果が採り入れられていないのが現状です。

そこで本研究では、複数の耐震性能に対して効果的な形態・要素を検証し、相互の関連性を考慮した耐震性能の評価について検討を行いました。この結果、個々の耐震性能向上効果は単純に足し算とはならないものの、ある程度の累積効果があることが判ってきました。

また、耐震性能に対して効果的な形態・要素を持つ住宅の割合を、既存住宅データから集計し分析を行いました。

更に、耐震性能に潜在的に影響する要素を採り入れた場合の評価と、その要素を持つ住宅の割合を考慮して、道内における既存木造住宅の耐震性能の分布

推計を行っています。

今後、本研究で推計した耐震性能の分布が道内既存木造住宅の耐震化計画を推進するための基礎資料として活用し、既存木造住宅の耐震化率の向上につなげていきたいと思っております。

▽1月の構造計算適合性判定業務の実績

受付 3件 (3棟)

結果通知 2件 (2棟)

1月の判定依頼は、病院・診療所が2件、廃棄物処理施設が1件でした。

▼建築性能試験センター

<http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/>

□建築性能試験センター『建築技術交流フォーラム』を立ち上げました

建築研究本部建築性能試験センターは、業務や研究における知見等の情報展開や情報交流などの活動を通じて建築に関わる方々の技術力向上を図ることを目的として『建築技術交流フォーラム』を立ち上げました。

フォーラムは目的にご賛同いただける個人を対象としており、建築性能試験センターが主催する講習会・研修会などの開催案内、技術情報等の情報提供および研究等に関する意見交換や協力等の交流を主とし、当面は建築構造に関する活動を対象にして活動を進めて参ります。

▼詳細はこちらから

道総研建築研究本部 建築性能試験センターHP

<http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/180328.html#1803>

研究紹介「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発」

(平成29年度～31年度 重点研究)

建築研究部 建築システムグループ 糸毛

近年、地域資源である道産木材の建築物への利用が推進されるなか、道内の建築事業者等から、外装材に道産木材を使いたいという強い要望があります。

一方、木材を外装材として木造建築物の外壁に用いる場合、建築基準法により、建設場所や用途、規模に応じて、外壁を防火構造や準耐火構造等とすることが定められており、大臣認定の取得が必要となります。

本研究では、北海道で広く普及する付加断熱外壁（充填断熱材の外側に断熱材を付加した外壁）の特徴を生かし、外装材に木材を用いて、大臣認定が取得可能な防火構造外壁および準耐火構造外壁の開発を目的に取り組んでいます。

大臣認定取得に向けては、内外装材や断熱材の種類や厚さから、施工時に留付ける釘やビスの長さまで、構成部材の仕様範囲をこと細かに定めなくてはなりません。

初年度である平成29年度は、建築事業者に対するヒアリングや図面調査等を行い、外壁の層構成や構成部材の仕様、施工手順等を把握・整理しました。

今年度は、防火構造外壁を開発しました。昨年度の調査結果に基づき、大臣

認定に申請するための仕様書を作成して、外壁の構成部材ごとに、認定仕様として包括すべき範囲を定め、仕様間の防火性能上の優劣を検討し整理してきました。そのうえで、仕様書上最も防火性能が低い外壁を試験体として製作し、試験により所定の防火性能を満足することを確認しました。

来年度は、準耐火構造外壁を開発するとともに、今年度、開発した防火構造外壁については、大臣認定取得に向けた技術移転を進めていく予定です。

■お知らせ

□道総研オープンフォーラムを開催します

道総研では「北海道に適した再生可能エネルギーの利活用を求めて」をテーマに、フォーラムを開催します。北海道大学の石井教授に「北海道の地域資源とエネルギー」について基調講演いただくとともに、これまでに道総研が取り組んできたエネルギーの地産地消や地域の活性化を目指した戦略研究の成果を紹介します。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

▼参加締め切り

2019年2月20日（水）

▼詳細はこちらから

道総研HP

http://www.hro.or.jp/info_headquarters/event/event/190226_4thOpenForum.html

■お知らせ

□道総研研究職員採用セミナーを開催します

道総研研究職員採用試験の受験を予定・検討されている学生・社会人の皆さま向けに、平成32年度採用の採用情報等に関する説明会を開催します。当日は道総研の研究職員が経験談を紹介するほか、試験に関することや日々の仕事についてご質問にお答えします。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

▼開催日

2019年3月9日（土）

※建築研究本部からの説明は14：00～

▼参加締め切り

2019年2月27日（水）16：00まで

▼詳細はこちらから

道総研HP

<http://www.hro.or.jp/hro/recruit/recruit/semina.html>

■お知らせ

□平成30年度きた住まいる技術講習会を全道で開催中です

住宅建設に携わる技術者のスキルの向上を図るため、毎年、全道で「きた住まいる技術講習会」を開催しております。外皮性能及び一次エネルギー消費量の算出に役立つ講習や、7年振りに改定を予定している「スカート断熱工法設計・施工マニュアル」に関する情報提供など、住宅事業者の実務に大変役立つ内容となっておりますので、多くのおみなさまのご参加をお待ちしています。

▼今後の開催地、日程は次のとおりです。（参加費無料）
旭川市 2月21日（木） 旭川市大雪クリスタルホール
札幌市 2月25日（月） 北海道自治労会館
（帯広市、函館市、留萌市、中標津町、北見市は開催済み）

▼プログラム、申込方法など案内詳細はこちらから
（一財）北海道建築指導センターHP
https://www.hokkaido-ksc.or.jp/assets/files/06_event/H30.1_gijyutu.pdf

=====
管理者からのお知らせ
=====
アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら
https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n
変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム
https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部
<http://www.hro.or.jp/list/building/>